

関西大学応援団のシンボル「第四代 千成瓢箪」の入魂式

～戦争で“お守り”に使われた初代に近づけ、伝統を受け継ぐ～

日時:2007年4月5日(木)午前10時～ 場所:豊國神社(大阪城公園内)

関西大学応援団では、4月5日(木)午前10時から、大阪城公園内にある豊國神社で、このたび新しく製作した関大応援団の“シンボル”「第四代 千成瓢箪」の入魂式を執り行います。

千成瓢箪は、関大スポーツの応援のため、連戦連勝した地元太閤秀吉の馬印にあやかり、昭和6～7年(1931～32)頃に初代が製作されて以来、関西大学応援団のシンボルとして使用されています。

昭和48年に製作した第三代の傷みが激しくなり、35年が経ったことから、このたび「第四代 千成瓢箪」を新調することとなりました。

第四代は、初代の型に近づけたもので、高さが2メートル50センチ、重量が約30キログラムです。金箔を貼った木製フラッシュと32個の瓢箪、関大カラーの紫紺に染められた皮革の馬簾(纏の飾り)などで作られています。

当日は、応援団リーダー部、吹奏楽部、バトン・チアリーダー部など、総勢約60名が大阪城公園内の大手前芝生広場から豊國神社までパレードし、同神社で入魂のお祓いが行われた後、「第四代 千成瓢箪」による初めての演舞奉納を行います。千陵拍子に乗って、金色に輝く瓢箪や紫紺色の馬簾が舞い、新しい千成瓢箪の晴れ姿を披露します。

今回の四代目の新調により、関大スポーツのますますの活躍を願うとともに、現在4名で活動する応援団リーダー部の団員減少にも歯止めをかけ、応援団の伝統を受け継ぎ、発展につなげていきたいと考えています。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>

■ 関西大学応援団「第四代 千成瓢箪」入魂式 概要

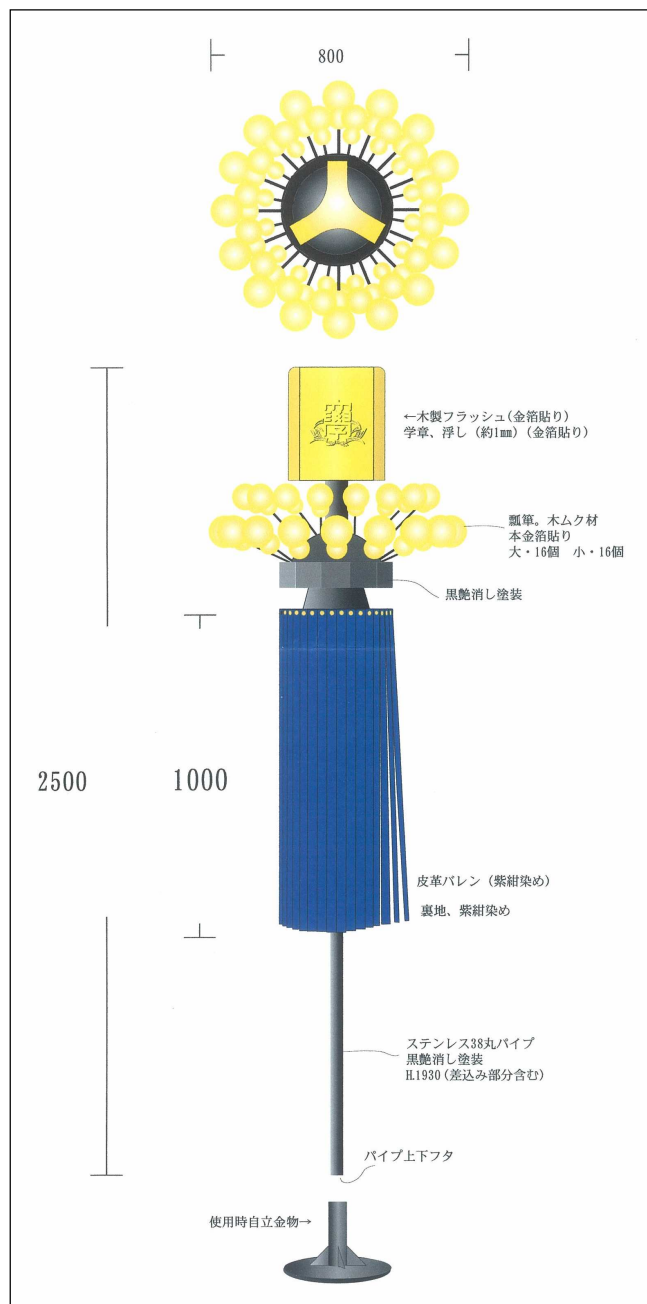
日 時 : 2007年4月5日(木) 午前10時~午前11時
 場 所 : 豊國神社(大阪城公園内) 所在地/大阪府中央区大阪城2-1
 出席者 : 関西大学応援団、大学関係者、関西大学校友会
 応援団OB千成会、2部応援団OB長柄会
 式次第 : 午前10時00分~ パレード(大手前芝生広場~豊國神社)
 午前10時20分~ 豊國神社で入魂式、演舞奉納
 午前11時00分 入魂式終了

<第四代 千成瓢箪仕様>

高さ 2メートル50センチ

重量 約30キログラム

特徴 金箔を貼った木製フラッシュと
 32個の瓢箪、関大カラーの紫
 紺に染められた皮革の馬簾(纏
 の飾り)初代デザインに近づけ
 た



■ 関西大学応援団 千成瓢箪について

初代千成瓢箪

昭和6～7年頃、太閤秀吉の馬印にあやかって製作。重量は、100キログラム近くあり、関大スポーツの応援に使われた。

戦中になり、学内より学徒兵として動員された学生や大学に駐屯していた兵隊が従軍するときの“お守り”として、瓢箪や付いていた皮の垂れを切り取って出征され、すべてなくなっていった。戦後には、その残骸のみが残っていたという。



初代千成瓢箪(撮影:昭和10年頃)

第二代 千成瓢箪

昭和28年、応援団学生の手により製作された。大学紛争時代の昭和45年、応援団室が全共闘学生に占拠され、行方不明となった。



第二代 千成瓢箪(撮影:昭和30年)



第三代 千成瓢箪

第三代 千成瓢箪

昭和48年、関西大学応援団50周年を期して、応援団OBの組織「千成会」の援助で製作。数年前より傷みが激しくなり、35年が経ったことから、応援団員から関西大学、関西大学校友会、千成会への新千成瓢箪の製作を願い出ている。

FAX返信用紙

関西大学 広報課 宛て

FAX番号：06-6368-1266

関西大学応援団 第四代千成瓢箪入魂式

日時：2007年4月5日(木) 午前10時～午前11時

場所：豊國神社(大阪城公園内) 所在地/大阪市中央区大阪城2-1

☐取材する

☐取材しない

御社名		
部署名		
番組名 雑誌名		
お名前		
ご連絡先	TEL	FAX
<備考欄> ご要望などがございましたらご記入ください。		

